政策研究会
松坂　昌應
議員

▼歩きやすい街づくり

Q 先日実施された交通安全総点検の目的、内容、結果はどうか。

A 道路交通環境の点検を行い、だれもが道路を利用できる交通環境の確保を目的としている。本年度は中央公園地区を点検した結果、通行上支障となる電柱や道路標識など多くの指摘があった。歩道や交差点の抜本的な改良など、長期的に解決しなければならない課題もある。

Q バリアフリー、ユニバーサルデザインとは何か。また、市での位置づけは。

A バリアフリーは既存の障害物を取り除くことで、ユニバーサルデザインは新規に整備するとき、すべての人々を想定して、障害物を少なくしようとすることで、市も推奨している。

Q 九州新幹線全線開通を念頭において、島原港に着いた観光客は四明荘までどのようにしてたどり着くのか。

A バスで最寄りの停留所まで行き、観光案内板等を利用して徒歩でいくことになる。

Q 島原駅から島原城へ行くときも徒歩になるが、堀の内側に歩道があればと市民や観光客から聞くが、どう考えているか。

A 堀の内側に歩道を設置すると車道幅員が狭くなるので、そのことも考慮に入れながら検討したい。

Q ダイエー南側の歩道が狭くて危険だが、どう考えているのか。

A 民有地側に歩道を広げると所有者との協議が必要になるが、それも考慮して検討したい。

▼市役所建てかえの問題点

Q 新庁舎に合併特例債は最大限幾らまで許可されるのか。

A 推計すると島原市の自治体規模では十数億円だと思うが、今のところはっきりとした数字を示すことはできない。それ以外は自主財源となる。

Q 懇話会から現在地及びその周辺との提言があるが、大手広場側、商店街側に広げての建てかえはできないのか。

A 道路の関係も含めて検討したい。

【その他の質問項目】
◇循環バス実証実験

政策研究会
種村　繁徳
議員

▼物産流通対策本部の実績について

Q 現在までの取り組みはどうか。

A 情報収集のための意見交換会や、職員による生産現場の直接訪問など、生産者の意見を伺った上で、パンフレットとホームページを開設し全国に情報発信している。また、新たな魅力ある特産品の創出を目的としたこらやっちゃよかばい事業を実施し、生産者の新商品開発の支援を行った。さらに、島原産品の魅力を消費者に伝えるため物産展等にも出店し各地にＰＲしている。

▼学校教育について

Q 基幹産業である農業、水産業の体験学習を取り入れ、後継者育成につなげてはどうか。

A 望ましい職業観、勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力、態度を育てる目的で、中学二年生で職場体験学習を実施している。また、農業体験は、三会中学校の三年生が農家の協力を得て野菜の収穫作業に取り組んでおり、今後も地域の特性を生かした体験学習を充実していく。

▼中尾川の利活用について

Q 河川敷は地元ボランティアが環境美化に努めているのが実情だが、市として河川敷の利活用を考えていないのか。

A 市制施行七十周年である本年を契機に、市民と一緒に、市全域で花いっぱいのまちづくりを進めようと考えており、河川敷における環境美化活動もその一環として地元の皆様と一緒に取り組んでいきたい。

▼道路問題について

Q 島原道路の進捗状況、また出平町から愛野町の提言はどうなっているのか。

A 中央道路の用地取得の状況は、現在面積ベースで約九十九％、工事の進捗状況は全長約四・五キロメートル全線で着手され、約六十％進んでいる。特に、トンネル工事は、十一月二十五日に貫通式が行われた。また、本年五月に立ち上げられた島原半島地域の交通機能強化検討委員会で、総合的評価の結果、農道沿いのルートが最適であるとの提言書がまとめられた。

【その他の質問項目】
◇本市農業対策について